

新型コロナウイルスの影響に関する
市民活動団体アンケート
集計結果

令和2年9月30日

山陽小野田市市民活動支援センター

新型コロナウイルスの影響に関する市民活動団体アンケート集計結果

【調査概要】

(1) 目的

新型コロナウイルスの感染拡大予防及び「新しい生活様式」への対応が、市民活動団体にとってどのような影響があるのかを明らかにし、この調査結果を今後の市民活動支援に活かすため。

(2) 実施期間

令和2年9月1日から令和2年9月25日まで

(3) 対象

市民活動支援センター登録団体 25 団体

(4) 回答方法

アンケート用紙への記入による回答

(5) 回答数

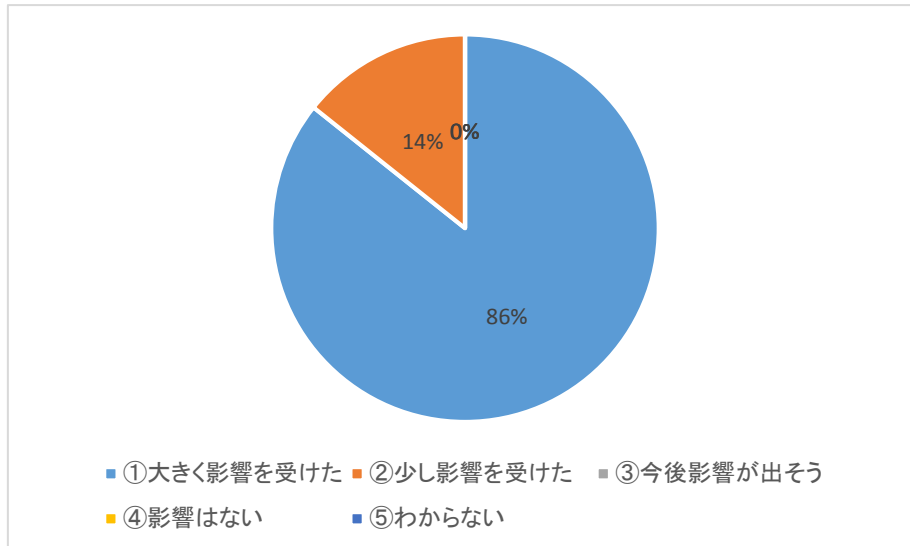
21 団体(回収率 84.0%)

(6) 実施主体

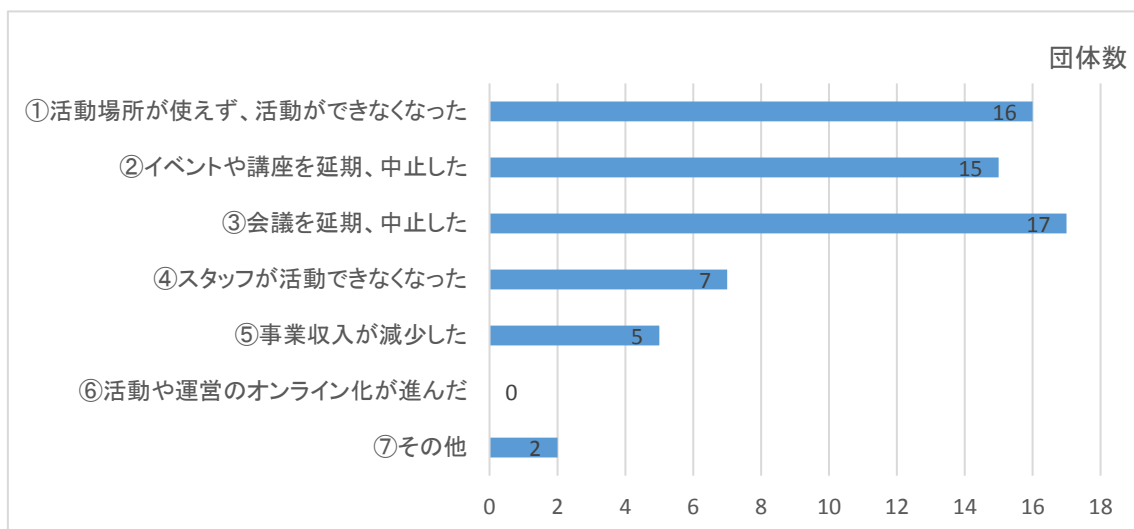
山陽小野田市市民活動支援センター

【回答結果】

Q1.新型コロナウイルスによって、団体活動に影響がありましたか？



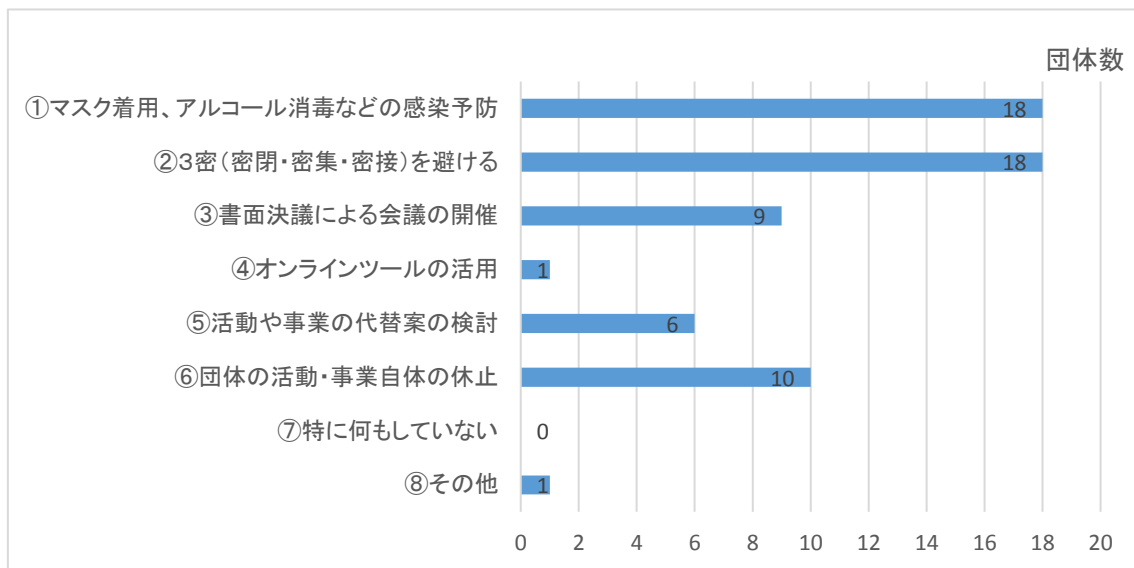
Q2.「Q1」で“影響を受けた”、“影響が出そう”を選択された団体は、具体的にどのような影響がありましたか？（複数回答可）



《その他の回答》

- ・学校や地域の行事が中止となり、活動ができなくなった
- ・会場使用の人数制限等があり、全員での活動ができなくなった

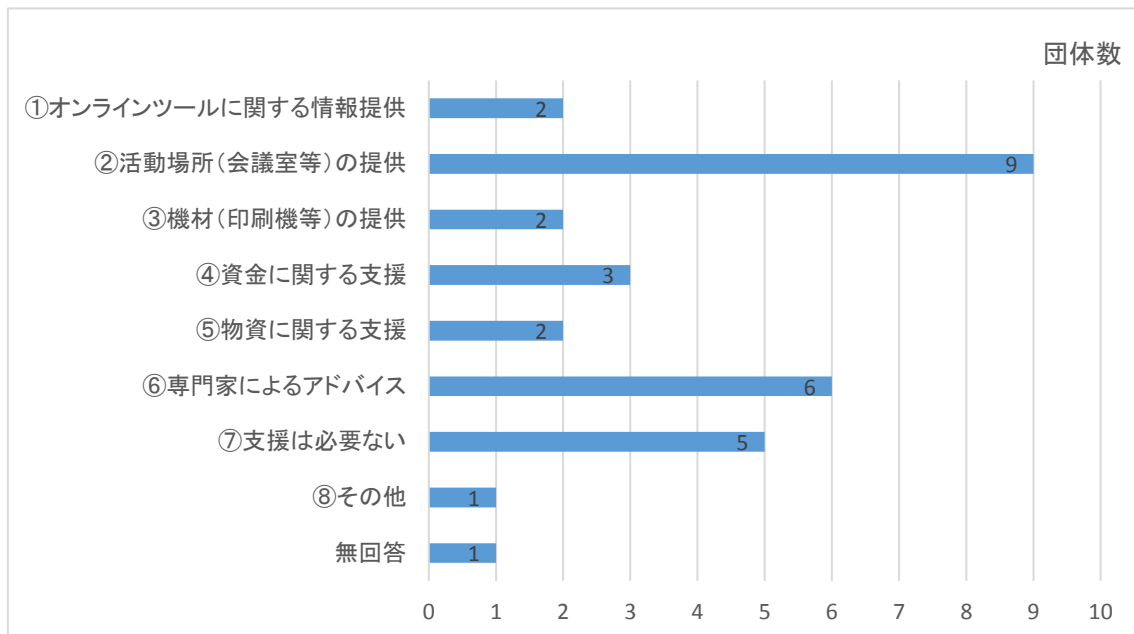
Q3.現在、活動を行う上で、どのような対策や工夫を行っていますか？（複数回答可）



《その他の回答》

- ・全員ではなく、当番を決めるなどして少人数で活動

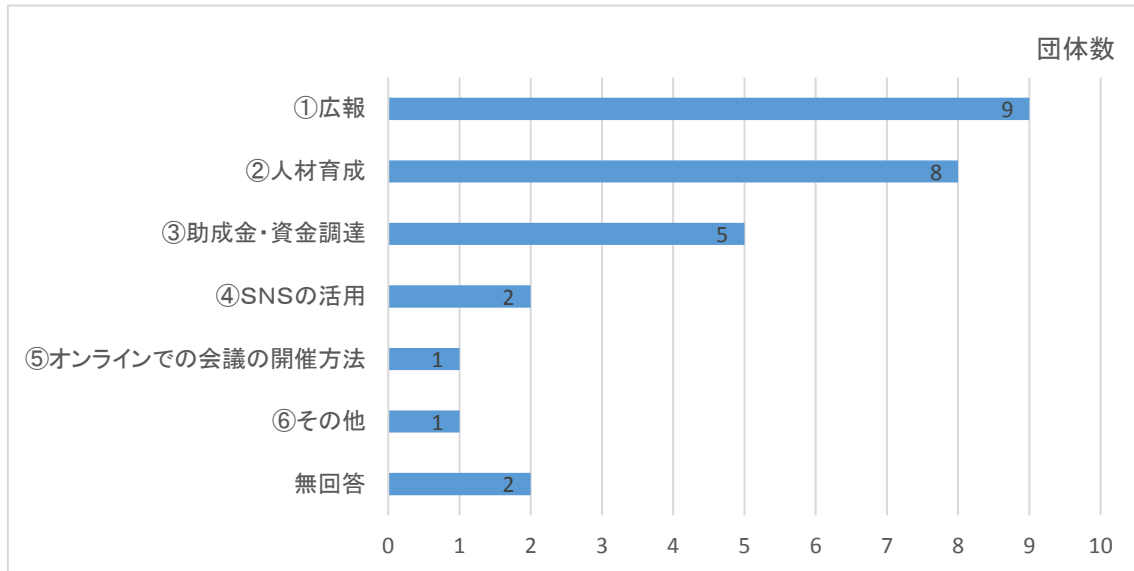
Q4.今後の活動において、特に必要な支援について教えてください。（複数回答可）



《その他の回答》

- ・新しい生活様式への対応

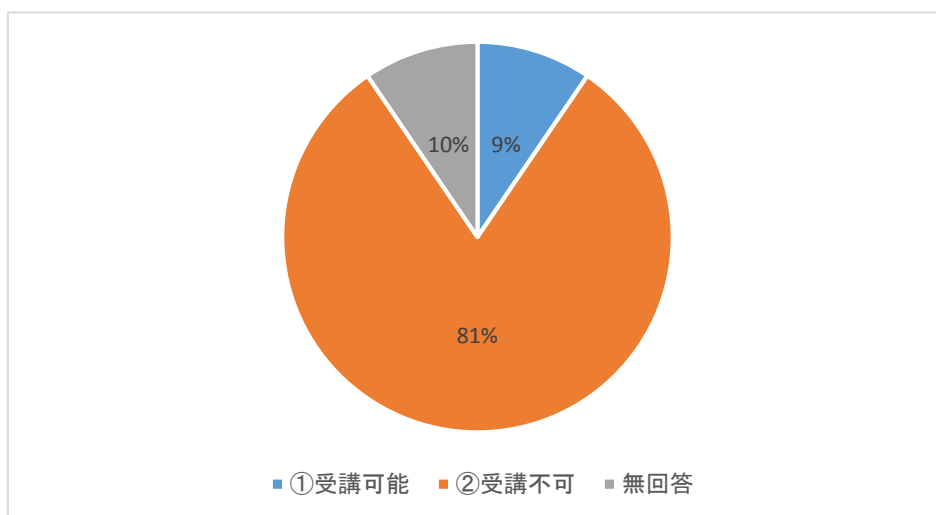
Q5.今後、市民活動支援センターでセミナーを開催する場合、希望するテーマを教えてください。(複数回答可)



《その他の回答》

・人材の確保

Q6.市民活動支援センターでオンラインセミナーを開催する場合、受講が可能ですか？



《対応可能なソフト》

・zoom

・複数対応可能

Q7.今後の活動について団体内での課題や懸念事項があれば、記入してください。

- ・コロナ禍に関すること(活動に制限がある、どのような対策を取ればよいか など) 6件
- ・会員や役員の高齢化 5件
- ・会員の増、人材の確保 4件
- ・活動資金調達 4件
- ・人材育成 3件
- ・オンラインの導入 1件

【アンケートの結果から】

回答していただいた全ての団体が、新型コロナウイルスの影響を受けていることがわかりました。その内容は、活動の延期や中止のみならず、事業収入の減少にも及んでいました。このようなコロナ禍の状況が長引けば、会員の士気の低下や資金的な困窮を招き、活動の継続が困難となることも懸念されます。会議等のオンライン化はあまり進んでいない様子であり、検討されている団体も少ないようですが、機器を含む会場の確保、情報提供も含めた支援を検討する必要があると感じております。

今後は、「新しい生活様式」を取り入れながら、徐々に活動を再開することとなります。市民活動支援センターとしては、「新しい生活様式」に対応した事業例の紹介等、事業実施へ向けた助言を行うほか、セミナー等を開催する場合はアンケート結果を参考に、各団体のニーズを踏まえたテーマ設定を行います。助成金等資金調達に関しては、現在も市ホームページに随時掲載しておりますので、引き続き積極的な情報発信を行っていきたいと考えております。

最後に、アンケートにご協力いただいた皆様には、貴重なご意見をいただきありがとうございました。